



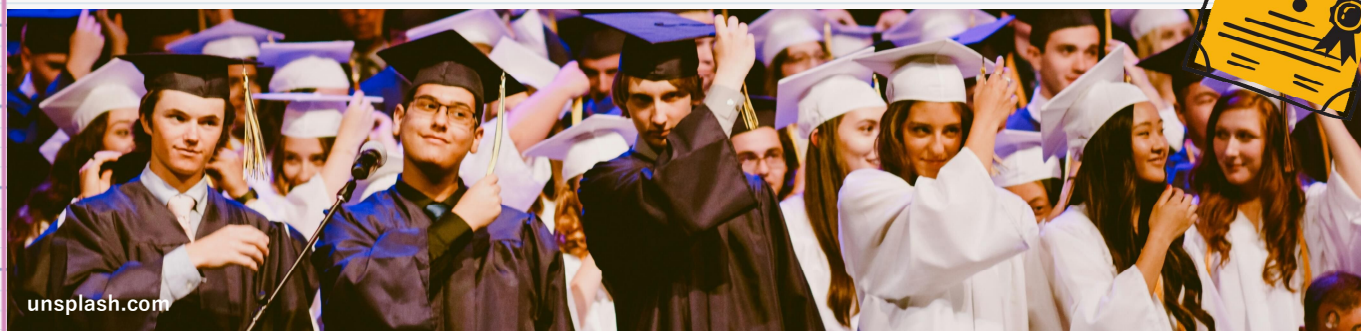
CIRのつぶやき

国際交流 国際理解教育 国際協力
国際観光 他文化 相互理解友好を図る



2025.04.01 第60号 おつかれさま！アメリカの卒業式

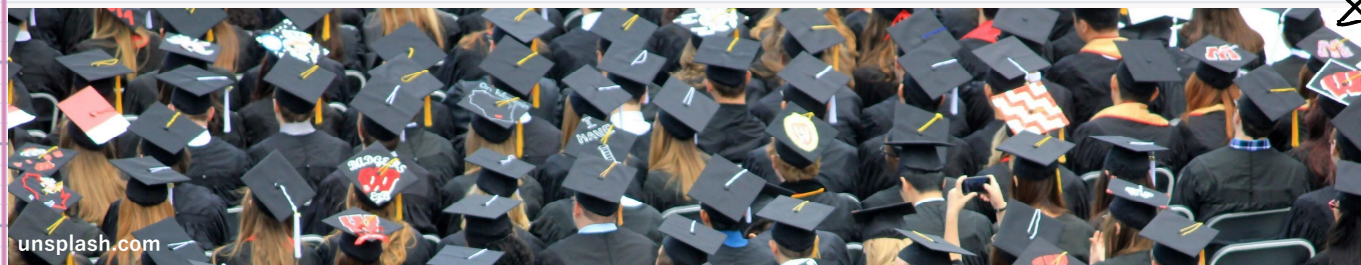
日本では4月が新学年の始まりですが、アメリカは逆で、「学年の終わり」となります！日本の3月の卒業と違って、アメリカでは、たいてい5月にあります。アメリカでは、高校と大学を卒業した時に卒業式が行われるのですが、最近では小学校や幼稚園でも卒業式を開催することが流行っています。社会人生活が楽しみな一方で、学校の良い思い出や友達と別れる悲しみもあるイベントです。これから、アメリカの卒業式の伝統や、流れや、歴史などを紹介したいと思います。



説明

一般的に、大学の卒業式は5月の中旬に行われ、高校の卒業式は6月の上旬です。しかし、4月と7月に行う時もあります。学校のスケジュールによりますが、たいてい春の時期です。卒業式の伝統や流れにも州や学校により違いがあります。

「人生の次のページをめくることを祝うイベント」という目的は同じです。卒業式の会場は、ほとんどの学校で体育館や講堂などの施設を使用しますが、とても大きい学校では、バスケットボールかフットボールスタジアムで行われていることもあります。



式の流れ

一般的な場合と言えば、高校と大学の流れはほとんど同じです。私の大学は大きかったので、学部に分かれました。高校ではたいてい四年生みんなが集まります。卒業生が列になって歩き、式が行われている会場に入り、校長のスピーチを聞きます。その後、選ばれた学生が社会人としてこれから頑張ろうという

テーマのスピーチを述べます。最後に目標の卒業証書を頂く時が来ました！名前が呼ばれたらステージに上がり、校長から受け取ります。全員が受け取ったら、締めくくりのお祝いの言葉「卒業をおめでとうございます！」を贈られ、卒業生はみんなと祝い合います。後は友達や家族と写真を撮ったり、レストランに行ったりします。



2025.04.01 第60号 おつかれさま！アメリカの卒業式



キャップとマント

アメリカの映画で見たことがあるかもしれませんが、日本の着物や袴みたいな、独特な卒業服があります。房飾りが付いている四角い「cap キャップ」をかぶって、長いマント「gown ガウン」を着ます。マントの上に、「stole ストール」もかけます。

中には、良い成績や賞などの証であるひもをかけている人もいます。房飾りは式の始まりに右側に置きます。校長が「卒業をおめでとうございます」と言ったら、左側に移します。時には、キャップを放り投げる卒業生もいます。

マントの下に、男性はスーツを着、女性はドレスを着ます。白が新しい始まりという象徴の色なので、多くの女性が白いドレスを着ます。

記念の撮影

卒業する前に、写真家に記念撮影をしてもらうのが一般的です。人生のネクスト・ステップの記念写真になります。高校生の時は、時々キャップとマントを着る人もいますが、普通に正装で撮影します。女性としては、美容院に行き、オシャレができるイベントなので楽しいです。大学だったら、スーツや白いドレスと一緒に、キャップとマントを着、撮影します。しかし、四角いキャップは少しダサいイメージがあるので、時々マントだけ、スカーフだけなどのコーデにします。

